

●地域風景資産の名称：

成城の桜並木といちょう並木

●住所： 世田谷区成城六丁目、七丁目（下図）

●位置図：



●外観写真及び地域風景資産の特徴：

成城の桜並木とイチョウ並木は、昭和初期成城学園の学童も参加して植樹された。今や大きく育ち、季節ごとに豊かに表情を変える様子は、成城の象徴的な景観となっている。世田谷百景にも選ばれている。



●地域風景資産の背景等：

成城の桜並木とイチョウ並木は、昭和初期に成城学園の学童も参加して植樹されたと言われ、季節ごとに映える並木の風景は成城のまちづくりのシンボリック的存在である。イチョウ並木は成城学園へと視線を導き、桜並木は整然とした街並みを引き立てている。住民や学生をはじめ、企業や行政と協力し進めている落ち葉掃き等の並木を守り育てる活動は、並木の保全に取り組む方々のお手本となるものである。今後は、風景づくりから進める地域全体の心豊かな街づくりへの展開が期待される。

●備考：